

「学びの丘 上新田学園」の小中一貫教育の構想について

1 校訓

「協和・向上」

※卒業生になじみ深い校訓「協和・向上」を残し、今後も互いを大切に高め合う学校を目指します。

2 学校の「教育目標」と～スローガン～

「心豊かで、たくましく、将来を生き抜く児童生徒の育成」
～ふるさとを大切に夢を育む、みんなの「学びの丘 上新田学園」～

※将来、どんなことがあろうとも生き抜こうとする人を育てることを目指します。
※ふるさと上新田のよさや温かさを十分に理解させながら、「夢」を育みます。

3 教育活動の基本的な考え方

◎ 9年間を見通した教育目標のもとに、小中の職員全員が力を合わせ、地域のよさや教育資源を生かした教育活動を工夫し、一人一人の児童生徒に「夢」を育みながら、教育目標の具現化を図ります。

(1) 小規模校のよさを生かし、独自の「上新田スタンダード」のもとに、9年間を見通したきめ細かな指導を行い、学習指導、生徒指導、特別支援教育等を充実します。
また、9力年で生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を育てます。

※上新田学園で独自に設定した小～中の発達段階に応じた知・徳・体の到達目標のことでです。

(2) 施設一体型小中一貫教育校のよさを生かし、異学年との様々な交流の機会を通して、上学年への憧れと下学年への思いやりの心を育て、豊かな心をもつ児童生徒を育てます。

※異学年間の交流を増やし、憧れや思いやりなど、豊かな心を育てます。

(3) 地域のよさや教育資源を生かし、ふるさと上新田のよさに気づかせるとともに、様々な人々とのふれあいを通して、児童生徒に「自己有用感」と「夢」を育みます。

(4) 「A (小1～小4)・B (小5～中1)・C (中2～中3) のステージ制」も生かしながら、発達段階に応じ「主体的・対話的で深い学び」を取り入れ、「思考力・判断力・表現力等」を育みます。

4 特色ある教育活動

(1) 確かな学力を育むための教育活動

- ・「上新田スタンダード」をもとにした指導
- ・基礎学力コンテスト (スキルタイム、レベコン)
- ・小3から段階的に教科担任制を導入します。(※次ページ参照)



※小6と中3に加え、A、B、Cの3つのステージのまとまりも生かし、子どもが活躍する機会を増やし、主体性やリーダー性を育てます。

(2) 小中一貫教育のよさを生かした教育活動

- ・人権教育を基盤とする生徒指導・特別支援教育の推進
- ・小中合同による運動会・体育大会、文化祭・学習発表会
- ・小の児童会と中の生徒会が連動した児童生徒による主体的な活動
- ・縦割り (異学年混合) の班編制による清掃活動 …等

(3) 地域のよさや教育資源を生かした教育活動

- ・しんとみ読み語り ・稲作体験 ・座論梅の収穫 ・キャリア教育講演会
- ・茶摘み体験 ・菜の花プロジェクト (苗植え、種落とし) ・椎茸の駒打ち
- ・保育園での読み聞かせ ・地域探索 ・農業体験学習 ・職場体験学習 …等

※今後も、地域の方々とふれあう機会を工夫します。今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。



〔菜の花プロジェクト〕



〔椎茸のコマ打ち体験〕



〔ふるさと農業体験〕

5 学びの連続性について

発達段階	小1	小2	小3	<u>小4</u>	小5	<u>小6</u>	<u>中1</u>	中2	<u>中3</u>			
	Aステージ			Bステージ			Cステージ					
	《前期》 〔定着期〕			《中期》 〔活用期〕			《後期》 〔発展期〕					
	※学級担任制											
育てたい資質・能力と教育活動の連続性				【小中共同によるTTまたは専科の授業 (H30)】 小3～理科、音楽、英語活動 小4～算数、理科、音楽、体育、英語活動 小5～算数、理科、音楽、図工、家庭、体育、英語 小6～算数、理科、音楽、図工、体育、英語 ※段階的に教科担任制を導入						※教科担任制 【小の教師による授業 (H30)】 中1、中2、中3～技術		
	【教育目標】 「心豊かで、たくましく、将来を生き抜く児童生徒の育成」 ～ふるさとを大切に夢を育む、みんなの「学びの丘 上新田学園」～											
	ふるさとのよさに気づき、「夢」を育むキャリア教育の推進 ☆様々な人々とのふれあいを通じた「自己有用感」の育成											
	※地域との関わりに気づく			※地域の理解を深める			※地域に貢献する					
	※自己と集団との関わりに気づく			※自己理解を深める			※自己を生かす					
	しんとき読み語り参加⇒⇒⇒ 1/2成人式 座論梅咲樓			宿泊体験学習 イトン田んぼ稲作体験 修学旅行 小・卒業式			修学旅行 職場体験学習 立志式、 新富活性化 プロジェクト 中・卒業式			農業体験 地域探索		
	「学びの丘 上新田スタンダード」											
	※小学校入学（義務教育の開始） 知：《望ましい学習習慣の定着》 徳：《基本的な生活習慣の定着》 体：《体力づくり、健康教育、食育の推進》					※中学校卒業（義務教育の終了） 〔進路相談・進路選択〕 学力調査 ⇒ 実力テスト ⇒ 高校入試 【夢に向かい主体的に学ぶ姿】						
	① 生きて働く 知識・技能の習得 《何を理解しているか、何ができるか》											
	② 未知の状況にも対応できる 思考力、判断力、表現力等の育成 《理解していること・できることをどう使うか》											
～発達段階に応じた「主体的・対話的で深い学び」の実践～												
③ 学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性等の涵養 《どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか》												

※ 小学校入学時（入口の段階）から 中学校卒業時：高校入試（出口の段階）での子どもの姿をイメージしながら知・徳・体の学びの連続性を確保します。

※ 「夢」を持つこと自体が、生きるエネルギーとなり、困難を乗り越える力となります。

※ 「自己有用感」とは、「自分が他の人や社会のために役に立つという自信」のことで、将来の社会性の基盤となります。そのため、これまで以上に、地域の方など、多くの人々との心のふれあいを大切にします。

※ 低学年では学習の基盤となる「①知識・技能」の定着を重視し、発達に伴い、目的をもって学んだことを活用したり、応用したりする学習（主体的・対話的で深い学び）の機会を増やし、9年間を通して「②思考力、判断力、表現力等」や「③主体的に学びに向き合う力・人間性等」を育てます。

※ ①～③は【学力の3要素】（学校教育法第30条）です。

また、平成30年度からの新学習指導要領の趣旨をふまえています。

※ 「学びの丘 上新田学園」を築立つとき、一人一人の子どもが、自分自身の大切な「夢」を抱き、その夢の実現に向かって、自ら進んで努力することができるように育てます。